



## 2学期を振り返って

(はじめに) 早いもので、もう12月も半ば過ぎとなり2学期もあとわずかです。現在、学校としての課題はありますが、生徒たちは全体的に落ち着いた学校生活を過ごせたように思います。

今学期を振り返り、私の気になっていることをいくつか綴ってみます。

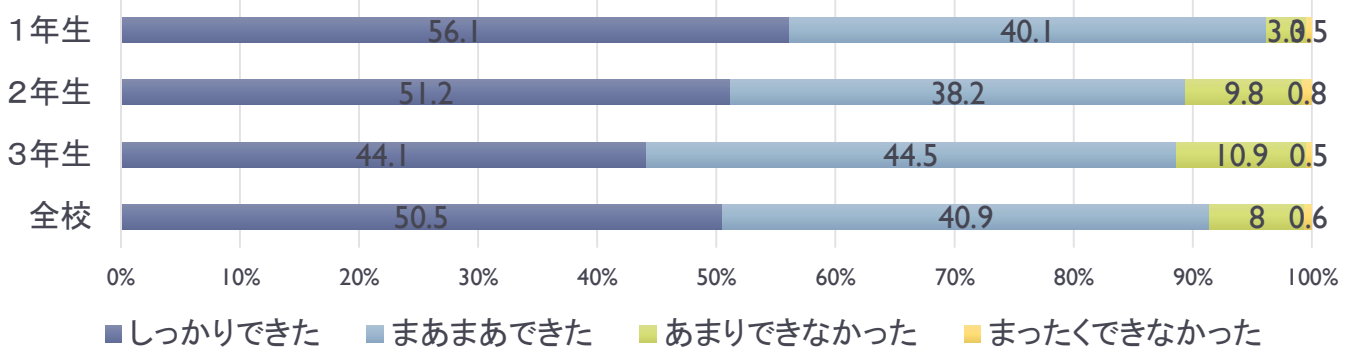


## 1 「あいさつアンケート」の結果

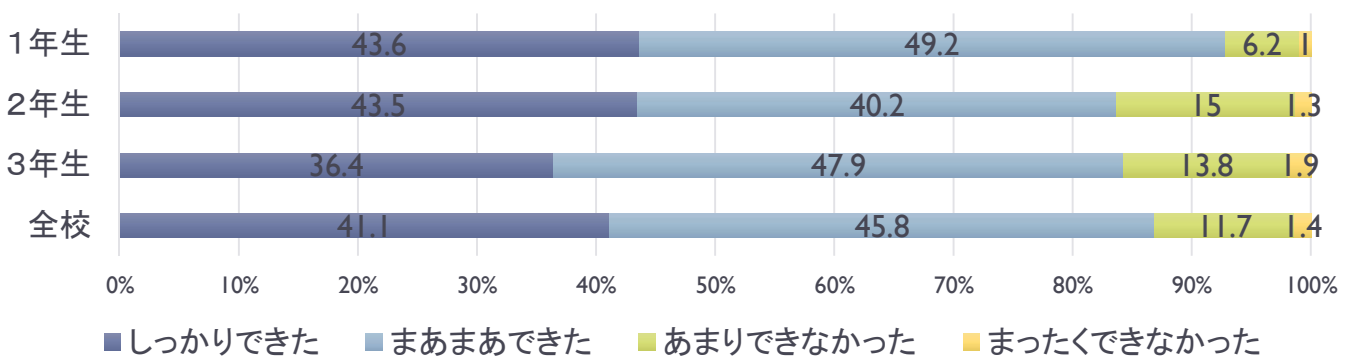
さて今年度、学校生活の中で大切にしていきたいことを4つあげ、生徒にも呼びかけてきました。その一つが挨拶であり、1学期末のアンケートでは90%以上の生徒が、「学校生活の中で挨拶がおおむねできている」と回答しました。ただ、毎朝、生徒玄関前で生徒と挨拶をかわしていると、その「質」は決して課題がないとは言えません。それは、次に示す先日実施した以下のアンケート結果からも、今後取り組んでいく必要のある課題が見えてくるように思います。



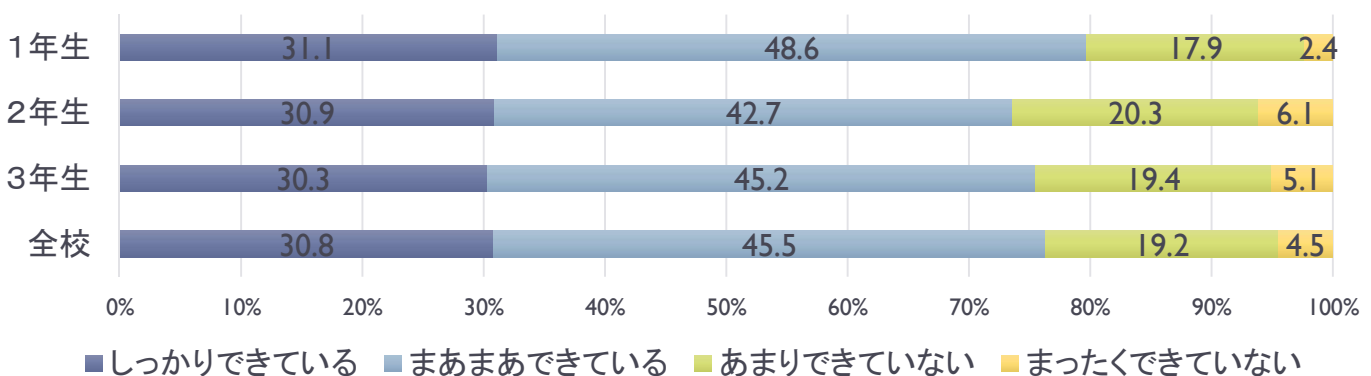
声を出した(声の伝わる)あいさつができましたか？



相手の顔を見た(目と目が合った)あいさつができましたか？



笑顔で(心をひらく)あいさつができましたか？



## 2 気になること

さて2学期は、地域行事が多かったこともあり、多くの地域の方々にお話を聞く機会がありました。その中で、「朝明中学校の生徒はよく挨拶しますね」というお言葉をたくさんいただきました。大変ありがたく感じます。しかし、逆にこんな指摘も地域の年輩の方からいただきました。

夕方、用水路わきの細い道を歩いとった時、朝明中の生徒が自転車で道いっぱいに広がって来たんや。いつも迷惑に感じとるけど、朝明中は生徒数が多いで「しゃあないな」と思とった。

そやけど今日は、ある生徒がすれ違いざま自分にぶつかってきたんや。ケガはせんかったけど「危ないやろ！」と叱った。あたりまえやろ。そやのに、その生徒は近くにいた仲間（つれ）に「危ないってさ」と言うんや。儂（わし）の言ったことを茶化してくんのやで。腹立ったんで「あやまらんか」と言うと、「このおっさん、あやまれってさ」と言うて笑うとる。まるで反省してない。朝明中の指導はどうなっとんのや！



この方がお怒りになるのは当然です。きちんとした自転車の乗り方をしなかったことも反省点ですが、何よりもこの年輩の方に対する生徒の言葉（暴言）が問題です。人の気持ちを逆なでするような言葉を投げかけることは、人として絶対にしてはいけないことです。

話は変わりますが、私は自動車出勤中、他校区で多くの登校中の小中学生に出会います。一度、中学生が急に道路を横切り、ヒヤッとすることがありました。「注意しようか」と思ったその時、その中学生は「ごめんなさい」とぺこりと頭を下げたのです。その瞬間、私の気持ちは一気に静まりました。ちょっとしたコミュニケーションでも、人の気持ちはずいぶん違うものになるものです。

## 3 聞くことの大切さ

今学期、友人との関係に悩んだり苦しんだりする生徒の報告を何回か受けました。その中でも、メールなどで厳しい言葉や心無い言葉を投げかけたり投げかけられたりして、友人関係にひびが入ってしまった例など、コミュニケーションが原因と考えられることが多かったように思います。



こうしたことを一気に解決していく特効薬のような方法はなかなか見当たりません。ただ、大切なこととして、**「相手の話をしっかりと聴く（しっかりと受け止める）ことが、人間関係を円滑にする基本である」**ということがよく言われます。人間関係にトラブルが生じたとき、その解決には自分の主張も必要ですが、相手の考えや思いにもしっかりと耳を傾けることが糸口になります。

## 4 校訓の第一は「和」

人間には感情がありますから、集団になれば少なからずトラブルが生じます。それを解決していく能力が社会性です。その社会性を育むために、学校では教科の授業以外に、学級活動、学校行事、部活動などの様々な活動があり、その中で生徒たちは、コミュニケーション力を高め、人間関係を育んでいきます。

本校の校訓は「和」で始まります。「和」のためには、コミュニケーション力が必要です。しかし、コミュニケーション力は主張するばかりではありません。自分以外の人の考えなどをよく聴き受け止めることが大切です。このことを念頭におき、今後も本校の教育活動に取り組んでいきたいと考えます。

**（おわりに）** 赴任して早いもので8か月たちました。緊張の連続ではありますが、何とか2学期を終えることができそうです。これもひとえに、保護者の皆様のご協力と地域の方々のお支えによるものと深く感謝いたします。少し早いのですが、よいお年をお迎えください。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。